

2019年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月1日

上場会社名 マルサンアイ株式会社 上場取引所 名
 コード番号 2551 URL https://www.marusanai.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)渡辺邦康
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画部長(兼)管理担当 (氏名)堺信好 (TEL) (0564)-27-3700
 定時株主総会開催予定日 2019年12月12日 配当支払開始予定日 2019年12月13日
 有価証券報告書提出予定日 2019年12月12日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及び証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期の連結業績 (2018年9月21日～2019年9月20日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期	27,373	3.9	388	2.5	387	△6.5	889	△22.4
2018年9月期	26,340	3.9	379	△46.6	414	△55.1	1,146	177.3
(注) 包括利益	2019年9月期		816百万円 (△32.6%)		2018年9月期		1,210百万円 (173.9%)	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年9月期	389 68	—	15.9	1.6	1.4
2018年9月期	502 47	—	24.3	1.7	1.4

(参考) 持分法投資損益 2019年9月期 1百万円 2018年9月期 39百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期	24,052	5,956	24.7	2,600 54
2018年9月期	23,475	5,276	22.4	2,304 05

(参考) 自己資本 2019年9月期 5,933百万円 2018年9月期 5,256百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年9月期	1,860	△1,586	△358	2,821
2018年9月期	2,940	△664	△1,966	2,912

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年9月期	—	0.00	—	60.00	60.00	136	11.9	2.9
2019年9月期	—	0.00	—	60.00	60.00	136	15.4	2.4
2020年9月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00		11.2	

3. 2020年9月期の連結業績予想 (2019年9月21日～2020年9月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,874	3.1	198	5.5	174	△9.6	162	173.8	70 62
通期	28,358	3.6	665	71.3	627	62.0	613	△31.0	266 98

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期	2,296,176株	2018年9月期	2,296,176株
② 期末自己株式数	2019年9月期	14,668株	2018年9月期	14,668株
③ 期中平均株式数	2019年9月期	2,281,508株	2018年9月期	2,281,525株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(4)今後の見通し」をご覧ください。

当社は、2019年11月8日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	13
(表示方法の変更)	15
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19
4. その他	20
役員の異動	20

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で今後の見通しとしては、海外経済における通商問題の緊張の増大や、金融資本市場の変動の影響が懸念される等、先行き不透明な状況が続いております。

みそ業界におきましては、海外への輸出、業務用みそ及び即席みそ汁の出荷が拡大している一方で、依然として家庭で消費される生みその需要減退が課題となっております。

豆乳業界におきましては、健康志向の高まりを背景として、料理にも使いやすい無調整豆乳を中心に、過去最高の生産量で推移しております。

このような環境の中で、当社グループは「健康で明るい生活へのお手伝い」を企業理念に定め、安全で安心できる製品の供給に努めるとともに、原価高騰への対策としてコスト削減に努め、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は、豆乳、「豆乳グルト」及び飲料が順調に推移したため273億73百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益は、売上高の増加により3億88百万円（前年同期比2.5%増）、経常利益は、主に持分法による投資利益の減少により3億87百万円（前年同期比6.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は、主に関係会社株式売却益の減少のため8億89百万円（前年同期比22.4%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① みそ事業

生みそ及び液状みそが堅調に推移したため、売上高は、49億58百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

a. 生みそ

メディアで赤だしが取り上げられたことをきっかけに、赤だしを中心とするカップ入りみその出荷拡大が継続したほか、業務用みそが順調に推移したため、売上高は、39億27百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

b. 調理みそ

「かんたんお料理みそ」が、液状みそ「とろける味噌だれ」等にシフトしたため、売上高は、3億71百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

c. 即席みそ

赤だしの売上が増加したため、売上高は、4億35百万円（前年同期比5.9%増）となりました。

d. 液状みそ

鮮度みそシリーズに対し各種販売促進活動に努めた結果、コンビニエンスストアをはじめ全国で導入店舗数が増加し、売上高は、2億23百万円（前年同期比32.1%増）となりました。

② 豆乳飲料事業

豆乳が順調に推移したため、売上高は、202億62百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

a. 豆乳

1000mlタイプの製品及び海外向け製品が順調に推移し、売上高は、180億34百万円（前年同期比5.9%増）となりました。

b. 飲料

アーモンド飲料等は売上が増加したものの、ミネラルウォーター及び他社ブランド飲料の売上が減少したため、売上高は、22億28百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

③ その他食品事業

「豆乳グルト」が好調に推移したものの、鍋スープ及び他社商品の売上が減少したため、売上高は、21億33百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

④ 技術指導料その他

技術指導料として、売上高18百万円（前年同期比3.4%増）を計上いたしました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

a. 資産

流動資産は、104億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億42百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、受取手形及び売掛金の増加3億32百万円等によるものであります。

固定資産は、136億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億34百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、有形固定資産の減少3億70百万円等に対し、無形固定資産の繰延税金資産の増加5億93百万円等によるものであります。

この結果、資産合計は、240億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億77百万円増加いたしました。

b. 負債

流動負債は、117億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億44百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、1年内返済予定の長期借入金の増加11億円等に対し、短期借入金の減少24億15百万円等があったためであります。

固定負債は、63億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億42百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、長期借入金の増加11億33百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、180億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2百万円減少いたしました。なお、流動負債の短期借入金の減少は、計画通りに、固定負債の長期借入金への借り換えを行った結果であり、そのため、1年内返済予定の長期借入金の増加となっております。

c. 純資産

純資産合計は、59億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億79百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、利益剰余金の増加7億52百万円等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ90百万円減少し、28億21百万円（前連結会計年度比3.1%減）となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、18億60百万円の収入（前年同期は29億40百万円の収入）となりました。これは、減価償却費12億76百万円等の収入によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、15億86百万円の支出（前年同期は6億64百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出15億81百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億58百万円の支出（前年同期は19億66百万円の支出）となりました。これは、長期借入れによる収入31億50百万円等に対し、短期借入金の純減少額24億15百万円、長期借入金の返済による支出9億16百万円等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年9月期	2016年9月期	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期
自己資本比率	21.8%	20.9%	17.5%	22.4%	24.7%
時価ベースの自己資本比率	39.5%	35.4%	35.6%	34.6%	33.8%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	3.6倍	4.8倍	7.3倍	2.7倍	4.2倍
インタレスト・カバレッジ・レシオ	32.9倍	35.5倍	43.0倍	99.2倍	64.0倍

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1 いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3 キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

4 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

みそ事業につきましては、液状みそ及び業務用みそのさらなる拡販に注力してまいります。

豆乳飲料事業につきましては、豆乳の需要拡大に対応するため、子会社であるマルサンアイ鳥取株式会社の生産能力のさらなる強化を図ってまいります。又、業務用豆乳市場でのシェア拡大に注力してまいります。

さらに、みそ事業、豆乳飲料事業ともに海外市場への進出を引き続き推進するとともに、原材料費の高騰に対応するため、事業の効率化やコスト削減等の利益向上対策に努めてまいります。

今後も引き続き安全、品質、環境、衛生面において細心の注意を払い、安全で安心できる製品作りを目指していく所存であります。

2020年9月期通期の見通しにつきましては、売上高は283億58百万円(前連結会計年度比3.6%増)、営業利益は6億65百万円(前連結会計年度比71.3%増)、経常利益は6億27百万円(前連結会計年度比62.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は6億13百万円(前連結会計年度比31.0%減)を予測しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準(IFRS)適用時期等につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月20日)	当連結会計年度 (2019年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,039,326	2,970,229
受取手形及び売掛金	4,141,799	4,474,101
たな卸資産	1,839,934	1,878,758
その他	954,155	1,094,552
貸倒引当金	△1,367	△949
流動資産合計	9,973,849	10,416,693
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,481,314	10,670,552
減価償却累計額	△5,379,072	△5,871,460
建物及び構築物 (純額)	5,102,241	4,799,091
機械装置及び運搬具	15,474,877	17,108,073
減価償却累計額	△12,426,263	△13,331,036
機械装置及び運搬具 (純額)	3,048,614	3,777,036
土地	3,004,916	3,004,916
建設仮勘定	982,165	218,546
その他	697,047	735,086
減価償却累計額	△510,583	△580,582
その他 (純額)	186,463	154,503
有形固定資産合計	12,324,401	11,954,094
無形固定資産	213,774	234,411
投資その他の資産		
投資有価証券	279,075	179,085
繰延税金資産	418,860	1,012,441
その他	276,059	266,684
貸倒引当金	△10,893	△10,884
投資その他の資産合計	963,101	1,447,327
固定資産合計	13,501,277	13,635,833
資産合計	23,475,126	24,052,526

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月20日)	当連結会計年度 (2019年9月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,604,191	3,601,946
短期借入金	4,060,000	1,645,000
1年内返済予定の長期借入金	744,966	1,845,253
未払法人税等	403,641	197,847
賞与引当金	367,079	379,621
未払金	3,670,453	3,648,561
その他	297,408	384,578
流動負債合計	13,147,741	11,702,808
固定負債		
長期借入金	3,159,308	4,293,009
退職給付に係る負債	1,224,836	1,250,973
資産除去債務	224,995	228,511
繰延税金負債	347,252	543,349
その他	94,488	77,848
固定負債合計	5,050,881	6,393,693
負債合計	18,198,622	18,096,501
純資産の部		
株主資本		
資本金	865,444	865,444
資本剰余金	629,828	629,828
利益剰余金	3,644,160	4,396,332
自己株式	△41,201	△41,201
株主資本合計	5,098,232	5,850,404
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,177	12,421
為替換算調整勘定	16,031	4,065
退職給付に係る調整累計額	84,268	66,269
その他の包括利益累計額合計	158,477	82,756
非支配株主持分	19,794	22,864
純資産合計	5,276,504	5,956,025
負債純資産合計	23,475,126	24,052,526

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年9月21日 至 2018年9月20日)	当連結会計年度 (自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)
売上高	26,340,579	27,373,877
売上原価	19,424,849	19,974,360
売上総利益	6,915,729	7,399,517
販売費及び一般管理費	6,536,439	7,010,842
営業利益	379,289	388,674
営業外収益		
投資有価証券売却益	—	16,296
受取利息	4,975	4,730
デリバティブ評価益	15,309	—
持分法による投資利益	39,328	1,936
不動産賃貸収入	15,816	15,816
その他	15,602	21,936
営業外収益合計	91,032	60,715
営業外費用		
支払利息	29,995	28,835
シンジケートローン手数料	7,498	8,539
債権売却損	14,487	15,214
その他	3,907	9,277
営業外費用合計	55,889	61,867
経常利益	414,433	387,523
特別利益		
補助金収入	1,283,686	1,003,685
固定資産売却益	277	35
関係会社株式売却益	416,749	—
特別利益合計	1,700,713	1,003,721
特別損失		
固定資産売却損	458	2,325
固定資産除却損	9,372	29,323
減損損失	222,469	555,041
投資有価証券評価損	21,491	—
特別損失合計	253,791	586,690
税金等調整前当期純利益	1,861,354	804,554
法人税、住民税及び事業税	454,102	294,072
法人税等調整額	258,443	△381,817
法人税等合計	712,546	△87,745
当期純利益	1,148,808	892,299
非支配株主に帰属する当期純利益	2,409	3,237
親会社株主に帰属する当期純利益	1,146,399	889,062

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年9月21日 至 2018年9月20日)	当連結会計年度 (自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)
当期純利益	1,148,808	892,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,034	△45,922
為替換算調整勘定	2,127	△8,351
退職給付に係る調整額	△2,940	△17,998
持分法適用会社に対する持分相当額	36,496	△3,614
その他の包括利益合計	61,717	△75,888
包括利益	1,210,526	816,411
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,208,009	813,340
非支配株主に係る包括利益	2,516	3,070

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年9月20日 至 2018年9月20日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	865,444	629,828	2,634,654	△41,018	4,088,909
当期変動額					
剰余金の配当			△136,893		△136,893
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,146,399		1,146,399
自己株式の取得				△183	△183
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,009,505	△183	1,009,322
当期末残高	865,444	629,828	3,644,160	△41,201	5,098,232

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	32,249	△22,592	87,209	96,867	17,277	4,203,054
当期変動額						
剰余金の配当						△136,893
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,146,399
自己株式の取得						△183
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	25,927	38,623	△2,940	61,610	2,516	64,127
当期変動額合計	25,927	38,623	△2,940	61,610	2,516	1,073,449
当期末残高	58,177	16,031	84,268	158,477	19,794	5,276,504

当連結会計年度（自 2018年9月20日 至 2019年9月20日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	865,444	629,828	3,644,160	△41,201	5,098,232
当期変動額					
剰余金の配当			△136,890		△136,890
親会社株主に帰属する 当期純利益			889,062		889,062
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	752,171	—	752,171
当期末残高	865,444	629,828	4,396,332	△41,201	5,850,404

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	58,177	16,031	84,268	158,477	19,794	5,276,504
当期変動額						
剰余金の配当						△136,890
親会社株主に帰属する 当期純利益						889,062
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△45,756	△11,966	△17,998	△75,721	3,070	△72,651
当期変動額合計	△45,756	△11,966	△17,998	△75,721	3,070	679,520
当期末残高	12,421	4,065	66,269	82,756	22,864	5,956,025

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年9月21日 至 2018年9月20日)	当連結会計年度 (自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,861,354	804,554
減価償却費	1,322,505	1,276,573
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△249	△427
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,289	12,542
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	12,655	8,137
受取利息及び受取配当金	△8,082	△8,327
補助金収入	△1,283,686	△1,003,685
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△16,296
関係会社株式売却損益 (△は益)	△416,749	—
持分法による投資損益 (△は益)	△39,328	△1,936
支払利息	29,995	28,835
シンジケートローン手数料	7,498	8,539
為替差損益 (△は益)	329	6,094
投資有価証券評価損益 (△は益)	21,491	—
デリバティブ評価損益 (△は益)	19,247	△432
固定資産除却損	896	9,435
減損損失	222,469	555,041
売上債権の増減額 (△は増加)	△162,225	△332,586
たな卸資産の増減額 (△は増加)	27,255	△39,252
仕入債務の増減額 (△は減少)	10,111	△545
未収入金の増減額 (△は増加)	59,204	△34,251
未払金の増減額 (△は減少)	△17,422	319,170
未収消費税等の増減額 (△は増加)	440,155	△135,300
その他	2,327	△86,714
小計	2,104,464	1,369,166
利息及び配当金の受取額	17,233	9,306
利息の支払額	△29,653	△29,047
補助金の受取額	1,283,686	1,003,685
法人税等の支払額	△435,334	△492,982
法人税等の還付額	0	31
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,940,396	1,860,160
投資活動によるキャッシュ・フロー		
短期貸付けによる支出	△16,670	—
短期貸付金の回収による収入	16,670	—
有形固定資産の取得による支出	△1,447,832	△1,581,254
有形固定資産の売却による収入	877	341
無形固定資産の取得による支出	△23,096	△59,875
投資有価証券の取得による支出	△10,270	△7,385
投資有価証券の売却による収入	—	62,081
関係会社株式の売却による収入	821,583	—
差入保証金の差入による支出	△5,254	△1,755
差入保証金の回収による収入	1,165	1,987
その他	△2,030	△529
投資活動によるキャッシュ・フロー	△664,857	△1,586,389

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年9月21日 至 2018年9月20日)	当連結会計年度 (自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,590,000	△2,415,000
長期借入れによる収入	3,890,000	3,150,000
長期借入金の返済による支出	△4,084,555	△916,012
シンジケートローン手数料支出	△7,683	△8,243
自己株式の取得による支出	△183	—
配当金の支払額	△136,893	△136,890
定期預金の払戻による収入	74,093	—
定期預金の預入による支出	△108,355	—
その他	△2,540	△31,900
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,966,116	△358,046
現金及び現金同等物に係る換算差額	717	△6,631
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	310,139	△90,907
現金及び現金同等物の期首残高	2,602,036	2,912,176
現金及び現金同等物の期末残高	2,912,176	2,821,269

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 5社

連結子会社 株式会社匠美
株式会社玉井味噌
マルサンアイ鳥取株式会社
丸三愛食品商貿(上海)有限公司
マルサンアイ(タイランド)株式会社

すべての子会社を連結しております。

2 持分法の適用に関する事項

(1) 持分法を適用した関連会社数

1社

海寧市裕豊醸造有限公司

関連会社は1社であります。

(2) 持分法の適用について特に記載する必要があると認められる事項

当該会社の事業年度に係る財務諸表を使用しております。

3 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社のうち、丸三愛食品商貿(上海)有限公司の決算日は12月31日であります。

連結財務諸表の作成にあたっては、当該子会社の2019年6月30日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

また、マルサンアイ(タイランド)株式会社の決算日は6月30日であります。連結決算書類の作成にあたっては、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上、必要な調整を行っております。その他の連結子会社の事業年度の末日は、連結決算日と一致しております。

4 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券

その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定)を採用しております。

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

② デリバティブ取引

時価法を採用しております。

③ たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産

評価基準は原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)によっております。

a 商品・製品・原材料・仕掛品

総平均法

b 貯蔵品

最終仕入原価法

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産(リース資産を除く)

定率法によっております。

ただし、1998年4月以降に取得した建物(建物附属設備は除く)並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は、次のとおりであります。

建物	17～38年
機械及び装置	10年

② 無形固定資産(リース資産を除く)

定額法によっております。

ただし、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における見積利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によります。

④ 長期前払費用

均等償却によっております。

(3) 重要な引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額及びそれに対応する社会保険料の会社負担額を計上しております。

(4) 退職給付に係る会計処理の方法

① 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当連結会計年度末までの期間に帰属させる方法については、期間定額基準によっております。

② 数理計算上の差異及び過去勤務費用の処理方法

過去勤務費用は、その発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により費用処理することにしております。

数理計算上の差異については、各連結会計年度の発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により、それぞれ発生の翌連結会計年度から費用処理することにしております。

未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用については、税効果を調整の上、純資産の部におけるその他の包括利益累計額の退職給付に係る調整累計額に計上しております。

③ 小規模企業等における簡便法の採用

一部の連結子会社は、退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合退職要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(5) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない短期的な投資であります。

(6) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜処理によっております。

(表示方法の変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当連結会計年度から適用しており、繰延税金資産は「投資その他の資産」の区分に表示し、繰延税金負債は「固定負債」の区分に表示する方法に変更しました。

この結果、前連結会計年度において「流動資産」に区分しておりました「繰延税金資産」(前連結会計年度395,129千円)は、当連結会計年度においては「投資その他の資産」の「繰延税金資産」1,012,441千円に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、主として国内で大豆製品を中心とした食品の開発、製造及び販売をしております。

従って、当社グループは系列を考慮した製品別セグメントから構成されており、「みそ事業」「豆乳飲料事業」及び「その他食品事業」の3つを報告セグメントとしております。

「みそ事業」は、主に生みそ、調理みそ、即席みそ及び液状みそが対象となっております。

「豆乳飲料事業」は、主に豆乳、飲料及び水が対象となっております。

「その他食品事業」は、みそ及び豆乳飲料以外の食品が対象となっております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業報告セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、売上総利益に、販売費及び一般管理費の内、セグメント別に識別可能な費用を控除して算出しております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2017年9月21日 至 2018年9月20日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,780,007	19,406,842	2,135,673	26,322,524	18,055	26,340,579
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,780,007	19,406,842	2,135,673	26,322,524	18,055	26,340,579
セグメント利益	403,801	3,835,728	208,308	4,447,839	18,055	4,465,894
セグメント資産	1,885,560	9,787,800	373,693	12,047,053	4,817	12,051,871
その他の項目						
減価償却費	217,165	919,803	17,447	1,154,417	—	1,154,417
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	78,083	1,217,507	93	1,295,684	—	1,295,684

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術指導料及び受取ロイヤリティーを含んでおります。

当連結会計年度(自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,958,723	20,262,963	2,133,525	27,355,213	18,664	27,373,877
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,958,723	20,262,963	2,133,525	27,355,213	18,664	27,373,877
セグメント利益	288,308	4,150,506	172,128	4,610,944	18,664	4,629,609
セグメント資産	1,573,933	9,906,369	284,721	11,765,024	4,093	11,769,117
その他の項目						
減価償却費	163,245	943,573	13,946	1,120,765	—	1,120,765
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	321,234	1,029,812	—	1,351,046	—	1,351,046

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術指導料を含んでおります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	4,447,839	4,610,944
「その他」の区分の利益	18,055	18,664
全社費用(注)	△4,086,604	△4,240,934
連結財務諸表の営業利益	379,289	388,674

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	12,047,053	11,765,024
「その他」の区分の資産	4,817	4,093
全社資産(注)	11,423,255	12,283,408
連結財務諸表の資産合計	23,475,126	24,052,526

(注) 全社資産は、主に営業資産及び本社資産であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	1,154,417	1,120,765	168,088	155,808	1,322,505	1,276,573
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,295,684	1,351,046	51,788	131,053	1,347,472	1,482,100

(注) 減価償却費の調整額は、販売費及び一般管理費に帰属する減価償却費であります。

有形固定資産及び無形固定資産の増加額調整額は、主に本社の設備投資額であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2017年9月21日 至 2018年9月20日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
伊藤忠商事株式会社	8,565,744	みそ事業、豆乳飲料事業及びその他食品事業

当連結会計年度(自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
伊藤忠商事株式会社	9,773,169	みそ事業、豆乳飲料事業及びその他食品事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年9月21日 至 2018年9月20日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	全社	合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計			
減損損失	222,469	—	—	222,469	—	—	222,469

当連結会計年度(自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	全社	合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計			
減損損失	445,913	53,931	53,926	553,771	—	1,269	555,041

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2017年9月21日 至 2018年9月20日)	当連結会計年度 (自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)
1株当たり純資産額	2,304円05銭	2,600円54銭
1株当たり当期純利益金額	502円47銭	389円68銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 算定上の基礎

1株当たり純資産額

項目	前連結会計年度 (2018年9月20日)	当連結会計年度 (2019年9月20日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額	5,276,504千円	5,956,025千円
普通株式に係る純資産額	5,256,710千円	5,933,160千円
差額の内訳 非支配株主持分	19,794千円	22,864千円
普通株式の発行済株式数	2,296,176株	2,296,176株
普通株式の自己株式数	14,668株	14,668株
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数	2,281,508株	2,281,508株

1株当たり当期純利益金額

項目	前連結会計年度 (自 2017年9月21日 至 2018年9月20日)	当連結会計年度 (自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,146,399千円	889,062千円
普通株主に帰属しない金額	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益	1,146,399千円	889,062千円
普通株式の期中平均株式数	2,281,525株	2,281,508株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

①代表者の変動

該当事項はありません。

②その他役員の変動 (2019年12月12日付予定)

新任取締役候補

取締役営業統括部長 (兼) 営業BPR室長、株式会社匠美取締役 加藤一郎
(現 営業統括部長 (兼) 営業BPR室長、株式会社匠美取締役)

取締役生産統括部長、株式会社玉井味噌取締役、マルサンアイ鳥取株式会社取締役 稲垣宏之
(現 生産統括部長、株式会社玉井味噌取締役、マルサンアイ鳥取株式会社取締役)

2019年9月期決算発表（連結）【参考資料】

マルサンアイ株式会社

(コード番号 2551 名証二部)

1. 業績の推移

(%表示は対前期増減率)

	2018年9月期		2019年9月期		2020年9月期（予想）	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売上高	26,340	3.9	27,373	3.9	28,358	3.6
営業利益	379	△46.6	388	2.5	665	71.3
経常利益	414	△55.1	387	△6.5	627	62.0
当期純利益	1,146	177.3	889	△22.4	613	△31.0

2. セグメント別売上高の推移

(%表示は対前期増減率)

	2018年9月期		2019年9月期		2020年9月期（予想）	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
生みそ	3,824	2.3	3,927	2.7	3,878	△1.2
調理みそ	375	△5.5	371	△0.8	400	7.6
即席みそ	411	△1.3	435	5.9	417	△4.2
液状みそ	169	291.8	223	32.1	290	29.8
みそ事業計	4,780	4.0	4,958	3.7	4,986	0.6
豆乳	17,026	9.3	18,034	5.9	18,922	4.9
飲料	2,380	△22.8	2,228	△6.4	2,362	6.0
豆乳飲料事業計	19,406	4.0	20,262	4.4	21,284	5.0
その他食品事業	2,135	3.0	2,133	△0.1	2,069	△3.0
技術指導料その他	18	0.6	18	3.4	18	△0.9
合計	26,340	3.9	27,373	3.9	28,358	3.6

3. 財政状態の推移

	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期（予想）
	百万円	百万円	百万円
総資産	23,475	24,052	23,946
純資産	5,276	5,956	6,423
自己資本比率	22.4%	24.7%	26.7%
1株当たり純資産	2,304円05銭	2,600円54銭	2,787円21銭

4. キャッシュ・フローの推移

	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期（予想）
	百万円	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,940	1,860	1,079
投資活動によるキャッシュ・フロー	△664	△1,586	△675
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,966	△358	△391
現金及び現金同等物 期末残高	2,912	2,821	2,834

5. 配当の状況

	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期（予想）
1株当たり配当額	60.0円	60.0円	30.0円
配当性向	11.9%	15.4%	11.2%

6. 設備投資額及び減価償却費の推移

	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期（予想）
	百万円	百万円	百万円
設備投資額	1,347	1,482	1,104
減価償却費	1,322	1,276	1,384

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。